



## 神在月のお話



10月、出雲大社に全国の神様が集まって一年の事を話し合うため、出雲以外には神様が居なくなる月ということから神無月といわれ、出雲では神在月といわれています。出雲へ行かず村や家に留まる田の神・家の神的性格を持つ留守神も存在して、すべての神が出雲に向くわけではないとされているようです。出雲大社（いずもたいしや）という方も多いですが、正式には出雲大社（いずもおおやしる）と読みます。大国主大神様をおまつりしており、広く“だいこくさま”として慕われ、日本全国多くの地域でおまつりされています。毎年、旧暦10月10日の夕刻に行われるのが「神迎神事(かみむかえしんじ)」です。出雲大社の西にある稲佐の浜にてたき火を焚き、神様を迎え入れるための神事を行います。神事が終わると神様を先導する役割を持つ龍蛇神を先頭に、奏楽のなか出雲大社まで行列をつくります。この時に通る道は「神迎の道」と呼ばれており、神話や伝統文化を今に伝える歴史的な建造物がたくさん残っています。行列が出雲大社に到着したら、神楽殿で「神迎祭(かみむかえさい)」が執り行われ、ようやく神々はお宿である十九社(じゅうくしや)に鎮まられます。集まった神々によるかむはかり(神様による会議)が行われ、農作や縁結びのことなど、人間では決めることのできない様々なことが決められます。その期間中に、出雲大社や周辺の神社にて行われる祭りのことを「神在祭(かみありさい)」と呼び、今年は、11月22日から開催の予定です。また、神在祭では古くより、小豆を煮て餅と一緒に食べる「神在餅(じんざいもち)」を振る舞っており、これが訛って伝わったことから現在の「ぜんざい」に繋がったとされています。そのような由緒があり、出雲はぜんざい発祥の地とも呼ばれます。縁結びの神社と言われる出雲大社ですが、本来は恋愛ではなく、人と人を繋ぐご縁を結ぶ神社なんですよ。大きな盃に日本酒を酌み交わし、全国から集まった沢山の神様が宴会をして酔っ払っている姿が目に見えますね。



### 【酪王カフェオレとクリームボックスがテレビで紹介されました。】



8月21日放送の『10万円のできるかな』は「福島県会津で思い出グルメ旅」サンドウィッチマン伊達ちゃんプロデュースでキスマイメンバーと喜多方ラーメン、ソースカツ丼の他、酪王協同乳業の酪王カフェオレとクリームボックスが紹介されました。皆さんご存じクリームボックスは45年以上愛される郡山のご当地パン。ミルク風味の厚切りミニ食パンにミルククリームがたっぷり。そして伊達ちゃんいわく「日本一美味しい」カフェオレは、クリームボックスとの相性抜群！通販で両方購入できるのはみちのくの里だけ！  
福島県民のソウルフードをぜひっ！

みちのくの里

検索

FROM-ZERO 通信は弊社のお取引先の皆様へ毎月配布させていただいている情報誌です。



株式会社 オフィスゼロ

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字下町 128

<http://www.office-0.co.jp/>

TEL 024-962-4709 FAX 024-962-4710



Web サイト スログ